

尾張・知多

先見明言

江南市長

堀 元氏

(ほり・もとし)

「江南を再発見すること」に主眼を置いた。キャッチフレーズは『咲かせよう 江南の夢 未来の花』で、13

6月1日に市制60周年を迎える江南市。この記念事業として、毎年春を彩る一大イベント「江南藤まつり」をはじめ各種イベントをさらに盛り上げようと、オリジナルのロゴマークを作成する。また、民間や地元大学など教育機関との連携を積極的に進める。「ことを飛躍の年と位置づけ、市民とともにまちづくりを進めたい」と語る堀元市長に記念事業、新年度事業の概要などを聞いた。

―市制60周年事業の特長は。

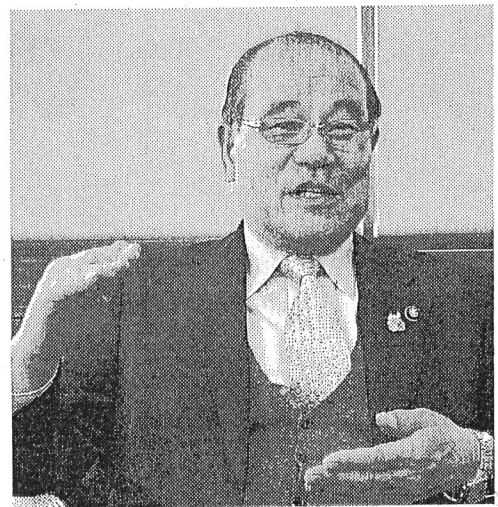
年度の新規採用職員のアイディアを取り入れ

(江南)

民間と連携、60周年盛大に

た。また、市を構成する資源をモチーフにロゴマークも作成した。具体的なイベントでは、市民主体の事業も積極的に行う。

「まず、市民団体などから記念事業への提案を募集し、事業費の一部または全部を助成する取り組みを行う。また、6月までに地元愛知江南短期大学とは、昨年から津島市と包括的連携協定を締結とともに『愛知の広域観



「藤まつりは広域観光で盛り上げたい」と語る堀市長

光キャンペーン」として連携し、県内外に向けて情報発信していく。ことは、『江南藤まつり』に津島市の行政関係者を招き、江南と津島両方の藤まつりをPRしていく」

「藤まつり」県内外向け情報発信

メイイベントを開催する予定だ。詳細は今後詰めるが、幅広く参加を募り、市民が楽しめる行事として定着させていきたい。

―コーナンスイーツをどう生かす。

「江南会議所とは現在、食でのにぎわいづくり事業として、市のマスコットキャラクター『藤花ちゃん』をイメージしたコーナンスイーツを開発し、徐々に販売店を広がっている。地元商店の新たな魅力作りに活用してもらおうことで、市のイメージアップにつながることを期待している。市ではイベントを通じてPRなど、情報発信を後押ししたい」